

<国立特殊教育総合研究所>

① 平成元年度新任特殊教育諸学校校長・教頭講習会 5日

- ・精神薄弱教育コース
県立石川養護学校 校長 片 寄 悦 幸
- ・病弱教育コース
県立須賀川養護学校竹田分校
教頭 大 久 雄一郎

② 平成元年度特殊教育センター等教育相談職員講習会 10日

- ・養護教育センター 指導主事 高 屋 隆 男
- ③ 長期研修 1か年
・聴覚障害教育研究部
県立聾学校平分校 教諭 須 田 康 仁
- ・重複障害教育研究部
県立猪苗代養護学校 教諭 小 竹 邦 元
- ④ 短期研修 3か月
・病弱教育コース
県立須賀川養護学校医大分校
教諭 佐久間 英 雄
- ・情緒障害教育コース
いわき市立湯本第二小学校 教諭 服 部 芳 郎
- ・聴覚障害教育コース
会津若松市立神指小学校 教諭 伊 藤 茂 正
- ・精神薄弱教育コース
岩代町立新殿小学校 教諭 菅 田 宮 代
- ・知的障害教育を主としたコース
県立大笹生養護学校 教諭 安 田 鉄 男
- ・感覚障害教育を主としたコース
県立聾学校 教諭 栗 城 文

<国立大学>

- ・横浜国立大学
重複障害教育 1か年
県立郡山養護学校 教諭 小 原 和 幸
- ・東京学芸大学
精神薄弱教育 1か年
福島市立福島養護学校 教諭 塚 野 薫

3 教 育 課 程

(1) 養護教育教育課程講習会

盲・聾・養護学校の学習指導要領の改訂等にとまない、新しい教育課程の円滑な実施を図るため、講義及び研究協議を行った。本年度は盲・聾・養護学校及び特殊学級設置小・中学校の教員3分の1を対象に実施した。講習会の内容は、幼稚部教育要領を中心として、改訂等の概要について説明した。

(養護教育教育課程講習会)

| 部 会 名 | 期 間 | 人 数 | 会 場 |
|-------|--------------------|-----|----------|
| 共 通 | 11月30日(木)～12月1日(金) | 22 | 養護教育センター |

| 部 会 名 | 期日及び会場 | | 人 数 | 会 場 | |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|------------------------|
| | 第 1 日 | 第 2 日 | | | |
| 盲学校及び弱視特殊学級 | 2月14日(水) | 2月15日(木) | 15 | 養護教育センター盲学校 | |
| 聾学校及び難聴・言語障害特殊学級 | 12月26日(水) | 1月18日(木) | 29 | 養護教育センター聾学校 | |
| 肢体不自由養護学校 | 2月13日(水) | 2月19日(月) | 34 | 養護教育センター平養護学校 | |
| 病弱養護学校及び身体虚弱特殊学級 | 12月6日(水) | 12月15日(金) | 26 | 養護教育センター須賀川養護学校 | |
| 精神薄弱・情緒障害養護特殊学級 | 県北管内 | 1月24日(水) | 2月13日(水) | 47 | 福島県自治会館大笹生養護学校 |
| | 県中管内 | 2月7日(水) | 2月22日(木) | 42 | 郡山市中央公民館白河合同庁舎石川養護学校 |
| | 県南管内 | 1月30日(水) | | 16 | |
| | 会津管内 | 12月4日(月) | 12月18日(月) | 28 | 城北小学校猪苗代養護学校 |
| | 相双管内 | 1月22日(月) | 2月20日(水) | 28 | 原町市文化センターいわき合同庁舎富岡養護学校 |
| | いわき管内 | 2月5日(月) | | 24 | |

※ 特殊学級部会は第1日の日程で、盲・聾・養護学校部会は、第1日、第2日の日程で実施した。

(2) 特殊学級教育課程県研究集会

| 期 日 | 期 間 | 会 場 | 参加人数 | 研修内容 |
|------------------|-----|------------|------|--|
| 6月8日(木) 9日(金) | 2日 | 郡山市勤労青年ホーム | 63名 | 児童又は生徒の実態に即した効果的な指導を行うため「領域・教科を合わせた指導」と「教科別・領域別の指導」についてどのように指導計画を作成し、指導するかについて、研究協議を行った。 |

(3) 養護教育交流推進事業(県単事業)

- ① 心身障害児と健常児とが、共同の生活体験をもつことにより、健常児には障害者に対する正しい理解と認識を高め、障害児には仲間意識を育て、積極的に社会に参加する態度の育成を目的に、昭和54年度より継続実施している。事業の充実を図るため、昭和59年度から新たに、地域指導者を参加させ地域社会との交流推進にも努めている。